

りんごだより

草笛学園 2024年 8月号



梅雨に入ってじめじめした日が続いていますが、今日から7月に入りましたね！雨が嫌な人もいるとは思いますが、雨の日は傘をさしたり、長靴を履いたり、子どもたちにとっていつもと違う雰囲気を感じられます。また、傘に当たる雨粒の音や長靴で入る水溜りも子どもたちにとってはアスレチックになります！色々な感覚を五感で感じ雨の日も楽しく過ごしてくださいね！だ



揺れ動く心

2、3歳の時期は他者への憧れの心でやってみたいことがいっぱいふえるにもかかわらず、実際にできることはまだ限られています。自分のなかのねがいと、実際の能力との間での矛盾が大きくなります。この矛盾は、子どもの心に少し不安定な気持ちをもたらします。乳児期前半でたとえば2か月ころ、乳児期後半で言えば8か月ころが、よく似た特徴を示していました（子どもと保育『0歳児』参照）。この不安定性が2、3歳頃の発達的特徴の一つです。

～中略～

3歳児になると、「あっ、失敗した」「悔しい」といったときに、ちょっと乱暴になったり、相手をののしるような汚いことばを使ったり、今までやっていたことを急に放り出してしまうような姿に出会うこともあります。

4歳児後半になると、もう少し自分の心をコントロールできるようになるのですが、そこに至るまでには、時として「困った行動」がふえることもあるのです。もちろん、結果として相手を傷つけるようなことを言ったりしたりする場合にきっちりと叱ることも必要です。しかし、ただ叱るだけでは、「本当はちゃんとやりたかった」「本当はかしい自分でありたい」という子ども自身のねがいを励ますことはできません。自分で自分を励まそうとしているのに、うまくいかなくて、かえって「困った行動」にでし

まうことも多いのです。そんな自分が悔しくて、より激しく泣いてしまうこともあります。

どの子ども、本当はかしい自分でありたいというねがいをもっています。一方的に叱るだけでなく、子どもをしっかりと抱きしめ、心を落ち着かせながら「本当は～したかったんだよね」とことばをかけることも大切だと思います。

～中略～

また、「みんなと同じようにしてみたい、できるだろうか」「みんなといっしょにあそびたい、でもはいていけない」と悩む心が、友だちの中へ入っていくのをためらわせたり、友だちのまわりをウロウロ歩きまわる行動につながることもあります。～中略～

もちろん、こうして悩みや葛藤ができるからこそ、その悩みをのりこえて、ピカピカしている自分に気づいたとき、より大きな喜びと自信を獲得することになります。今までこわくてプールの顔つけができなかった子が、はじめてつけられたときの喜びは、それまで悩んでいた分、大きなものになります。他の子と比べて、「～ちゃんは早い」「～ちゃんは遅い」ということではなく、一人ひとりがどんな自分に挑戦しようとしてがんばっているのか、そのがんばりをゆったりと見守り、新しい自分に挑戦できたときに「すごいね」「がんばったね」と声をかけられるおとなでありたいと思います。こうした自信の積み重ねが、4歳後半に獲得されていく自制心の土台になっていくのです。

子どもと保育「3歳児」 秋葉英則・白石恵理子 監修

次回のりんご教室は…

りんご教室①（次回は9月3日）

→しっぽとりをします。動きやすい服装でシューズ・水筒を持って来てください。

りんご教室②（次回は9月17日）

→しっぽとりをします。動きやすい服装でシューズ・水筒を持って来てください。

参加される皆様へ』 ～ご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費は無料です。（次回からおたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため）制作や、クッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡いたします
- ・活動は主に、草笛学園遊戯室での活動となります
- ・水分補給のため、お茶を用意して下さい（ジュース類は控えてください）
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前にご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に爪を必ず切ってきてください
ていただくとともに、学園への連絡をお願いします